

原子力艦 ロナルド・レーガン 寄港日の放射能調査結果

平成 30 年 4 月 20 日
放射線環境対策室

米国原子力艦 ロナルド・レーガン の横須賀港寄港に伴う第138日目の放射能調査結果は次のとおりである。

1. モニタリングボートによる放射線の測定結果

(1) 使用ボート	きぬがさ
(2) 調査コース	寄港時調査コース
(3) 調査日時	平成30年 4 月 20 日 09:55 ～ 10:42
(4) 調査結果	空間 4 ～ 7 nGy/h 海水 10 ～ 13 cps

2. モニタリングポストによる放射線の測定結果

		測定結果	備 考
(1) 調査期間		自 平成30年 4 月 19 日 15:00 至 平成30年 4 月 20 日 15:00	
調査結果	小海(1号)局	空間 24 ～ 29 (32) nGy/h 海水 9 ～ 12 cps	
	泊(2号)局	空間 16 ～ 20 nGy/h 海水 20 ～ 24 cps	
	楠ヶ浦(3号)局	空間 24 ～ 29 nGy/h 海水※ 6 ～ 9 cps	
	長浦(4号)局	空間 31 ～ 36 nGy/h 海水 13 ～ 17 cps	
	かきヶ浦(5号)局	空間 17 ～ 21 nGy/h 海水 9 ～ 13 cps	
	小川町(6号)局	空間 34 ～ 39 nGy/h	
	本町(7号)局	空間 36 ～ 41 nGy/h	
	東逸見(8号)局	空間 20 ～ 25 nGy/h	
	船越(9号)局	空間 25 ～ 30 nGy/h	
	夏島(10号)局	空間 19 ～ 23 nGy/h	

3. 天 候 晴

4. 備 考

- (1) 測定結果は、平成29年11月30日(木)に実施した入港前調査の測定値と同一レベルである。
 - (2) モニタリングポスト小海(1号)局において、平成30年4月20日(金)7時46分、空間計の最大値が32nGy/hを記録した。測定値の上昇、下降パターン及びスペクトル解析の結果から放射性医薬品を投与された人等が近傍を通過したことによるものと考えられる。
- ※ 楠ヶ浦(3号)局モニタリングポスト海水計取付架台工事のため、サーベイメータを用いて測定した結果である。